



岩見沢市
開庁140年
市制施行80周年
岩見沢、歴史、文化、未来。

受け継がれる^{おも}想い

岩見沢は今年、開庁140年、市制施行80周年を迎えます。これを記念し、岩見沢のこれまでのあゆみや岩見沢に関わりの深い人、出来事などを紹介します。

第5回

開拓者の思いが息づく無形文化財

明治時代の北海道には、各地からの移住者とともに多様な文化や慣習が持ち込まれました。市指定の無形文化財も、移住者の出身地の文化に由来します。

三管三鼓と呼ばれる笛や太鼓の演奏者で構成される岩見沢雅楽会は、法要の際に雅楽を演奏する本願寺式が根付いた富山県や福井県から大願町、金子町へ移住した人々が、明治末期に同好者で集まり演奏したことに始まります。大正2年に東本願寺から雅楽の指導を受け、農業に従事しながら研さんを積み、岩見沢神社の大祭や法要等で奏楽を続けました。昭和40年には同好会発足50周年として名称を岩見沢雅楽会とし、昭和43年、岩見沢市で初の無形文化財に指定されました。

砺波獅子舞は、栗沢町砺波に団体移住した富山県東西両砺波郡出身者が伝えた獅子舞です。頭の重さ8キログラム、胴幕の長さ13メートルの獅子に7人が入るほか、獅子取の子ども10人、伎楽12人など総勢40数名編成で、五穀豊穡や家内安全の祈願、祖先供養として、移住者の心を癒し団結を強める重要な行事として継承されました。他町村に招かれて出張奉納を行ってきたほか、昭和47年に栗沢町無形民俗文化財指定を受け、昭和50年には文化庁主催の北海道東北ブロック民俗芸能大会に北海道代表として出場するなど、地域を超えて広くその存在と価値が認められてきました。



砺波獅子舞

2つの無形文化財は、郷里の芸能を修得した人々が北海道へ移住し、その技を日々の楽しみや癒し、また祈りや地域の団結のために披露することで形づくられ、その歴史的背景と特徴から地域の財産として文化財に指定されました。独特の技術修得と多くの人数を必要とするため継承は容易ではなく、現在はどちらも活動を休止していますが、移住者と郷里とのつながりを伝える証として後世に残したいものです。



岩見沢雅楽会

人の動き (令和5年6月30日現在)

●住民基本台帳	人口	男	35,485人	(前月比 - 5)
		女	40,494人	(前月比 - 28)
	総数		75,979人	(前月比 - 33)
	世帯数		40,930世帯	(前月比 + 19)

岩見沢市役所

☎ 068-8686 北海道岩見沢市鳩が丘1丁目1番1号

☎ 0126-23-4111 (代表) FAX 0126-23-9977

ホームページ

<https://www.city.iwamizawa.hokkaido.jp>



Twitter



Facebook



Instagram



LINE



発行・編集 岩見沢市総務部秘書課広報係

広報 クイズ

プレゼント

正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント

問題

美唄市から安平町にかけてある石狩低地東縁断層帯という□□□が岩見沢市の下を通っているため、内陸型地震に注意が必要です。
□に当てはまる言葉をお答えください。

締め切り 8月21日(月) (必着)

応募方法

はがき(送付先左記)、市ホームページのフォーム、ファックス(0126-23-7731)、Eメール(pr@city.iwamizawa.lg.jp)で、●クイズの答え●住所●氏名●年齢●電話番号●広報紙に関するご意見・ご要望を必ず記入し、総務部秘書課広報係へ。当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。7月号の正解は毛陽でした。

